

大洲病院ニュース

OZU CITY HOSPITAL NEWS

発行：市立大洲病院

編集：広報委員会

〒795-8501

大洲市西大洲甲570番地

TEL0893-24-2151

FAX0893-24-0036

年初のごあいさつ

大洲市病院事業管理者
兼 市立大洲病院 院長

谷口 嘉康



新年明けましておめでとうございます。本年は当院にとりまして、昭和39年4月に市立大洲病院（旧病院移転改築）となって50年が経過する、また平成7年4月に現在地に新築移転してから20年目を迎える節目の年でございます。

地方の病院に行くほど医師不足、看護師不足が大きな問題となっており、地方の医療崩壊が言われて久しく、当院におきましても医師不足、医師の偏在は特に深刻であり、勤務医の負担軽減が喫緊の課題となっております。

このような厳しい医療環境の中、地域に良質な医療を提供する公立病院としての使命を果たすために、本年も救急医療の提供、チーム医療や病棟・病診連携の促進など地域医療の充実に積極的に取り組むとともに、健全な病院経営のため「大洲病院改革プラン」に基づき病院改革も着実に進めてまいり所存です。特に本年2月には病院情報システムの導入を予定しており、患者様の負担軽減と医療安全の向上につながるものと思っております。

また、地域の救急医療につきましましては、愛媛大学医学部のご支援をいただき、また喜多医師会のご協力のもと「大洲喜多休日夜間急患センター」が運営をされ、軽症患者の二次救急医療機関での受診の減少につながっています。限られた医療資源を有効に活用するためにも、今後とも更なる救急病院の適正利用について、皆様方のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

市立大洲病院の理念

患者様に信頼される良質で安全・安心な医療を提供し、地域社会に貢献します。

市立大洲病院の基本方針

- ◆患者様の権利を尊重し、心のこもった医療を実践します。
- ◆関係機関との連携を密にし、地域医療の充実に努めます。
- ◆職員一人ひとりが主体的に専門能力の研鑽に努め、質の高いチーム医療を提供します。
- ◆効率的で安定した経営基盤の確立に努め、健全な病院経営を目指します。
- ◆働き続けられる魅力ある職場環境づくりに努めます。

〈第20号の主な内容〉

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ●院長の年初ごあいさつ 1 P | ●インフルエンザについて 4 P |
| ●オーダリングシステム 2 P | ●地域医療連携室の利用を 5 P |
| ●市民講座を開催 3 P | ●リハビリ通信 5 P |
| ●外来待ち時間調査 4 P | ●南予ICLS大洲コース 6 P |

市立大洲病院公式ホームページ

<http://www.ozuch.jp/>

2月から オーダリングシステム による診察を開始します！

大洲病院では、患者様へのサービス向上と各診療業務の省力化など業務改善を図るとともに、指示・伝達ミス防止を一層徹底し医療の安全性を高めることを目的に、病院情報システムの構築に年度当初より病院全体で取り組んでまいりました。

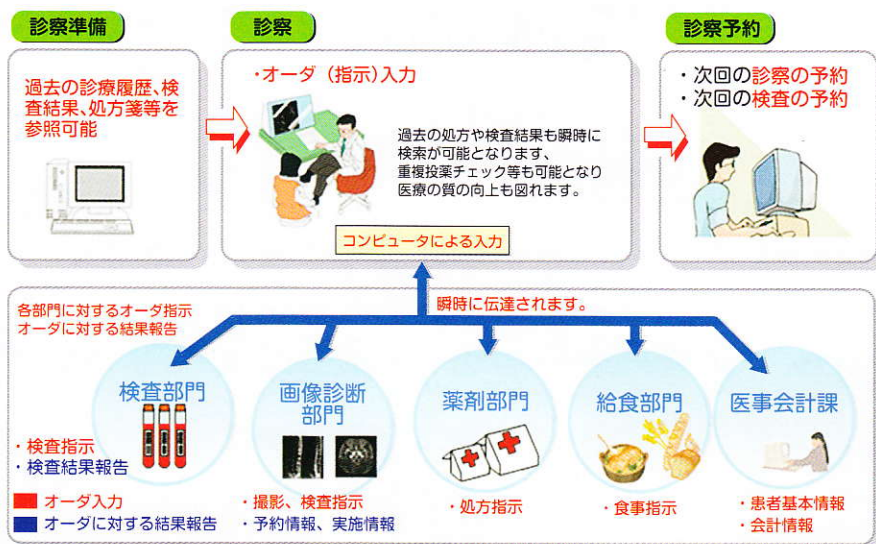
このたび **2月3日月の外来診療**より、「**オーダリングシステム**」による診療を開始することとなりますので、その概要や患者さまの受診方法等についてお知らせをいたします。

どんなシステムなの？

コンピュータを利用して、診察内容を正確かつ迅速に各部門へ伝達するシステムです。

従来の手書きの伝票（処方箋、検査伝票、画像指示箋、食事指示箋など）は、医師による指示が出された後、各部門への伝達に時間がかかり、患者様をお待たせする要因のひとつとなっていました。

オーダリングシステムの導入により、指示された内容が瞬時かつ正確に各部門に伝達されますので、患者様の待ち時間の短縮と指示伝達ミスの防止につながります。また、蓄積された情報を元に、検査結果や服薬の状況を確認することが可能となり、医療の質の向上にも役立てられます。



受診の流れは変わるの？

患者様が来院をされ受診して帰られるまでの基本的な流れに変わりはありません。再来受付機は更新されますが、現在お持ちの「診察券（カード）」もそのまま利用できます。

また、受付時には「受付票」（新患等の方には「患者基本スケジュール票」）をお渡しいたします。この受付票を外来窓口や検査窓口にご提示いただくことにより、受付票の「バーコード」でご本人の確認とその方の検査等の指示が診療各現場で確認できる流れとなります。

診察終了後は、総合受付に「受付票」をご提出いただくことにより、会計計算を行いますので、お名前をお呼びするまで総合受付ロビーでお待ちいただくことになります。なお、お薬については、今までどおり「お薬引換券」を精算時にお渡しします。

さらに、診察終了後に総合受付または薬局にご提出いただいていた「カルテ袋」は、今後不要となります。ただし、2科以上受診され次の診療科へ移動される場合はカルテ袋を持参して移動していただきます。

システム導入に伴う患者様へのお願い

現在、病院職員もシステム操作能力向上のため、勤務終了後、その技術習得に努めているところです。

しかし、システム導入直後の2月当初は、職員も初めての対応となりますので、患者様にはご迷惑をかけすることも多々あると思います。今回のシステム導入の目的であります、患者様への「安全安心な医療の提供」と「患者様満足度向上のための迅速な対応」という趣旨をご理解いただき、ご了承いただきますようお願いいたします。

(見本)

(バーコード)

受付票

〇〇年〇〇月〇〇日 〇時〇分 発行

本日の受付番号 〇〇〇〇

患者番号 〇〇〇〇〇〇-〇

氏名 大洲 太郎 様

生年月日 昭和〇〇年〇月〇日 男

[診療科] 内科

[医師] 〇〇医師

[診療内容] 診察

[予約時間] 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

[検査内容] CT

[予約時間] 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

受付は終了しました。

診察券と受付票を持って

各科外来へお越しください。

市立大洲病院

大洲病院主催の 市民講座 を開催しました。

地域に密着した病院体制の一環として、大洲病院では「家庭で出来る減塩食を目指して」と題し、去る11月16日(土)に**市民公開講座**を開催しました。午前に「減塩調理実習」、午後に「減塩と疾患の講演・相談会」と盛りだくさんの内容に多くの参加者が集いました。

「なぜ今、減塩なのか?」、食塩の摂取量を少なくする事で、国民病と言われる高血圧ひいては動脈硬化や脳梗塞・心筋梗塞等の死に繋がる病気の予防になります。今後も市民の皆様の健康維持増進のために市民公開講座を随時開催してまいります。

減塩調理実習

24名の参加者が調理師・栄養士とともに、「①旬の新鮮な食材を使う」「②香辛料(カレー粉等)を利用する」「③塩分の少ない調味料(マヨネーズ、ケチャップ等)を活用する」を減塩食のポイントに調理実習を行いました。



参加者からは「実際に自分の舌で確かめられ大変勉強になった」「ちょっとしたことで減塩食になることを知った」などの感想が寄せられました。



◆減塩メニューレシピ

- (1食当たり488kcal塩分2g)
- ・鯛のたたき(塩分0.8g)
 - ・油揚げ白菜ロール(〆0.8g)
 - ・春菊の白和え(〆0.2g)
 - ・ポテトのカレー炒め(〆0.2g)

講演・相談会

午後の第2部では、約60名の参加を得て、「減塩と疾患」に関する講演・相談会を開催しました。

まず講演会では、中西医師(内科)と佐藤医師(泌尿器科)の両副院長からの基調講演の後、看護師から「血圧の測り方」、薬剤師から「高血圧と薬」、管理栄養士から「栄養のバランス」について、それぞれ実技などを交えながらお話をさせていただき、参加者の皆さんは熱心に聴講されました。

講演後は相談会に移り、参加者のご質問や心配事に当院スタッフが専門的立場からご助言をさせていただき、有意義な市民講座となりました。



市民講座での副院長講演要旨



演題『食塩と血圧について』

～健康長寿を目指して～

副院長 中西 公王

日本人は古代より生命活動のための塩の精製技術が発達し、農耕民族で塩を食す習慣が続きました。現在は飽食・雑食の時代となり嗜好・利便性を高めるものとして食塩を多用しています。

からい物をたくさん食べると喉が渇き水を飲みます。それは塩分を薄める為で、血液を含めた体液量が増加します。心臓は血液を送り出すポンプで、押し出す力の事を血圧と言っています。そこで食塩を摂り過ぎると高血圧が起こるわけです。高血圧治療の目的は心臓や血管の障害を原因とする病気の発生や死亡を抑え、健康に過ごせる時間をできるだけ増やす事です。

脳血管疾患は、日本人の死因の第3位であるだけでなく、要介護の原因疾患の約1/4を占め、高齢化社会において、その予防は極めて重要なテーマになります。減塩、血圧治療で脳卒中は減少してきましたが、糖尿病・肥満・高脂血症の増加で心臓病はまだ減少にいたっていません。減塩とともに生活習慣の是正も重要です。



演題『高血圧と塩分について』

～自分の腎臓を守るために～

副院長 佐藤 武司

血圧とは心臓から送り出す血液量×血管の硬さに関係します。塩分が多いと体液量が増加し血圧が上がります。日本人の塩分摂取は年々減少しているとは言え、外国と比較すると依然として多い状況です。血圧管理には塩分制限が重要です。

高血圧とは140/90以上(家庭血圧135/85以上)ですが、持病があれば目標値が変わるので医師の指導を受けてください。

高血圧を放っておくと動脈硬化が進み心臓・脳などの臓器障害を起こし、末期腎不全となれば透析を行うことになります。透析患者も年々増加傾向となっています。心筋梗塞などで命を落とす原因となる高血圧は、サイレントキラーと言われています。

血圧は日々変動します。早朝の血圧上昇は心筋梗塞・脳卒中を引き起こす引き金となっています。毎日の習慣として、家庭で早朝血圧測定を行い、記録を残しておくことも大切です。

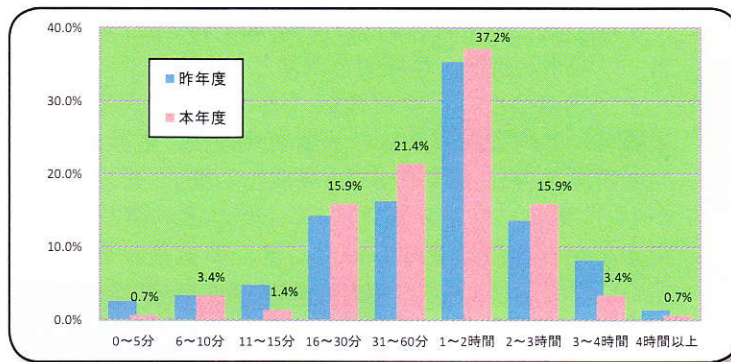
平成25年度 外来待ち時間調査

○調査部門 診療科（内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科）
各部署（薬局、検査、レントゲン、リハビリ、会計）

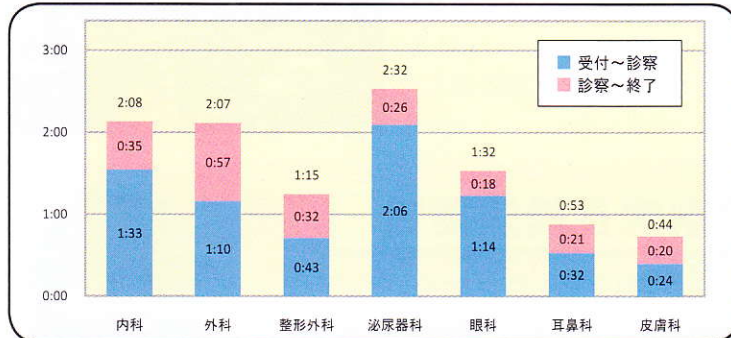
○調査期間 10月7日(月)～11日(金) 5日間

○調査人数 30名/日 計150名

◆全診療科待ち時間（受付～診察開始）



◆診療科別所要時間（受付～終了）



◇調査結果から今後の対応策を立案し実行してまいります◇

この1年間、「初診の方には大まかな待ち時間をお伝えする」「待ち時間の長い方には外出や食事を促す」などの改善策に取り組みました結果、若干ながらも待ち時間の改善を図ることができましたが、まだまだ患者様にはご迷惑をおかけしております。

抜本的な改善は、医師不足が解消されない限り困難な状況ではありますが、今後とも病院全体で待ち時間の短縮に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

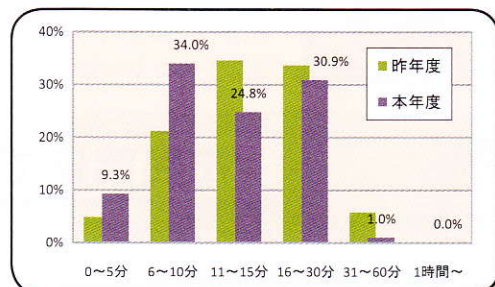
また、患者様が満足して診察等を受けていただけるよう、職員一同“おもてなし”の心をもって対応することの大切さを認識し、接客向上にも努めてまいります。

大洲病院では、「患者さまに選ばれる病院づくり」の一環として、待ち時間短縮に向けての工夫や患者さまの満足度の向上を図ることを目的に、毎年度外来待ち時間調査を実施しています。

その調査結果をお知らせします。

- 診察開始まで2時間以上お待ちいただく患者様の割合は、全体で25.3%から20.0%と5.3ポイント改善しました。
- 受付から診察開始までの全科平均の待ち時間は1時間18分で、その診療科ごとの平均待ち時間は、左下表のとおりですが、特に改善が見られた診療科は、
泌尿器科 2時間42分⇒2時間06分
眼科 2時間05分⇒1時間14分
となっております。
- また、受付から会計終了までの全所要時間も、全科平均で2時間01分から1時間51分に改善されました。なお診療科ごとの所要時間は左下表のとおりです。

◆薬局待ち時間



インフルエンザについて

感染した場合の症状は？

- 38度以上の高熱、悪寒、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状。セキ、のどの痛み、鼻水など。
- 発熱は3～5日続き1週間ほどで治ります。
- かかったかなと思ったら早めに医療機関を受診し治療を受けましょう（抗ウィルス薬は症状が出てから48時間以内に服薬することが必要です）。
- 子ども、高齢者、持病を持つ方は重症化する恐れがあります。

当院では感染拡大を防ぐため、流行時期には次のような対応をとらせていただきますのでご協力ください。

- ◆入院患者様への感染を防ぐため、一定の期間、面会をお断りすることがあります。
- ◆熱、咳、嘔吐、下痢の症状がある患者様は職員に申し出ください。
- ◆感染疑いの患者様は発熱外来での診療になる場合があります。

積極的な「地域医療連携室」のご利用を！

地域と病院の架け橋。それが地域医療連携室です!!

『地域医療連携室』は、病病・病診連携、退院（療養）支援、医療・福祉相談を包括する組織で、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）と看護師が配置されています。

患者さまやご家族をはじめ地域の方々が、この地域で安心して生活していただけるように、地域の医療機関等と当院、そして患者さまとの架け橋となるよう、さまざまな業務を取り扱っています。

どうぞお気軽に地域医療連携室をご活用ください。



医療や福祉・介護に関するお悩み事のご相談に応じます

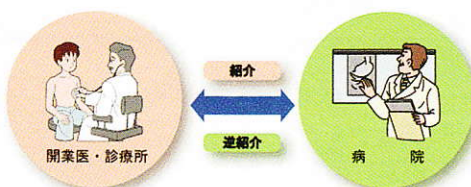
病気や治療に関する相談、生活や入院による不安や生活課題、当院へのご意見・ご要望等に対して、専任のソーシャルワーカーと看護師が専門的な立場でご相談をお受けしています。

午前中は1階総合受付横の「患者様相談コーナー」で、午後は1階ATM横の「地域連携室内」で対応していますので、医療・福祉に関することは何でもお気軽にご相談ください。

かかりつけ医からの当院紹介も連携室をご利用下さい

精密な検査や入院が必要となった場合は、開業医から病院へ紹介が行われ、入院治療の必要がなくなった場合は病院から開業医へ（逆）紹介するというように、病院と開業医等が連携を取りながら地域での医療を進めています。

開業医の紹介状を持参して当院を受診される方は「初診扱い」となり、再診（予約）患者様の空いた時間枠内での診察となることから、長時間お待たせすることとなりご迷惑をおかけしています。



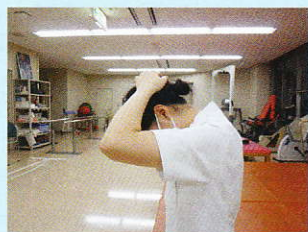
しかし、紹介状での受診の場合でも、かかりつけ医から事前に地域連携室を通じてご紹介いただくと、診察予約時間をお取りすることが可能となりますので、ぜひ、かかりつけ医師とご相談のうえ地域医療連携室をご利用ください。

リハビリ通信 ～シリーズ④～

肩こりのストレッチ

肩こりは、放置しておくとな慢性的な頭痛や倦怠感を起こし、硬くなった筋肉はなかなかほぐすことが難しくなります。そうなる前に早めに対処していきましょう。今回は、簡単な肩ストレッチの方法を紹介します。

①前屈・側屈ストレッチ



前屈：背筋を伸ばし頭の後ろで両手を組み、首をゆっくり前へ倒す



側屈：手をこめかみのところへ置き、ゆっくりと押す。左右どちらも行う

②肩すくめ運動



◆背筋を伸ばして、両肩を同時に耳につけるような気持ちですくめる。肩の力を一気に抜いて下げる

③肘あおぎ運動



◆背筋を伸ばして頭の後ろで手を組み、両肘を前に閉じた姿勢から始める。ゆっくりと両肘を外側にまっすぐ開く

- ・①は5秒程度保持してください。
- ・どの運動も数回～10回程度を目安に行ってください。
- ・継続して運動することが大切ですが、痛みが伴う場合は、無理をして行わないよう気をつけましょう。

診療体制のお知らせ

診療科／曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内 科	1 診	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口	谷 口
	2 診	中 西	中 西	徳本(肝臓外来) (第2・4・5)	中 西	休 診
	3 診	今 峰	清 水	今 峰	清 水	今 峰
神 経 内 科	1 診	休 診	休 診	休 診	岩城 (月2回)	休 診
外 科	1 診	李	李	予約のみ (手術日)	李	土 居
	予約・検診	土 居	土 居		土 居	李
整 形 外 科 ※初診は、 午前10時30分から 診療開始	初 診	間 崎	間 崎	田 口	休 診 (手術日)	田 口
	再 診	田 口	田 口	間 崎		間 崎
泌 尿 器 科 ※6	1 診	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武	佐藤武
	2 診	佐藤秀	佐藤秀	佐藤秀	沢 田	佐藤秀
眼 科 受付午前10時30分まで	1 診	休 診	愛大医師	休 診	休 診	愛大医師
耳 鼻 咽 喉 科	1 診	田 口	休 診	西 田	休 診	勢 井
皮 膚 科	1 診	休 診	増 田	佐 山	休 診	花 川

※1 診療受付時間は、午前8時15分から午前11時30分までです。

※2 緊急手術等により受付時間を繰り上げる場合があります。

※3 休診日は、土曜、日曜、祝日および年末年始です。

※4 担当医師の変更、休診の場合がありますので、事前に電話でお問い合わせください。

※5 整形外科の毎月第二火曜日は、愛媛大学 三浦教授による膝専門外来があります。

※6 泌尿器科の診療時間は透析・入院患者様対応のため、1診は9時45分、2診は10時45分からの診療開始となります。

市立大洲病院 ☎0893-24-2151

南予ICLS大洲コースを終えて

救急看護認定看護師 向 井 直 基

11月17日(日)、当院で『第9回大洲ICLSコース』が行われました。

ICLSコースとは、救急医学会認定の医療従事者のための「蘇生トレーニングコース」のことで、突然の心停止に対する最初の10分の救命対応と適切なチーム医療を習得することを目的とした実技を中心としたコースです。

受講者にとっては1日がかりのハードなコースでしたが、当日は南予を中心とした愛媛県下のインストラクター、近隣消防署、当院のスタッフが関わり、近隣病院からの受講参加を得て、各々が臨床現場における非常に有効なスキルを得ることができました。

今後も地域の医療者の救命技術向上と地域医療の質向上につながるよう、この取り組みを継続していきたいと考えています。



救急病院適正利用のお願い

当地域の救急医療は、休日夜間急患センター（初期救急）と二次救急医療機関で実施していますが、救急機関を利用される軽症患者の増加は、スタッフの負担が増大し、最終的には地域の救急医療体制の崩壊につながる危険性を包含しています。

当地域の救急医療体制を皆さまで守るため、「かかりつけ医で診療時間内に受診する」「軽症等の場合は休日夜間急患センターを利用する」など救急病院の適正な利用をお願いいたします。

◆大洲喜多休日夜間急患センター

平日・土曜 午後8時～11時
日曜・祝日 午前9時～午後6時
☎23-1156